

食べておいしさを知る 野菜の学校 2012

続々「日本の伝統野菜・地方野菜」受講生募集

NPO 法人野菜と文化のフォーラムが主催する「食べておいしさを知る野菜の学校」(以下「野菜の学校」)は、一昨年より2年間、伝統野菜・地方野菜をテーマに講座を設け、大変好評を博してきました。受講生からは「野菜にこんな味があったのか!」「野菜の見方、食べ方が変わった!」と驚きの声が聞かれます。引き続き来期(2012年4月~翌年3月)も、この2年間で取り上げられなかった地域の伝統野菜・地方野菜をテーマに展開します。



伝統野菜といえば、京都や加賀がよく知られており、講座の1年目にとりあげました。両者を筆頭に、全国各地で伝統野菜を見直す動きが活発です。地産地消で産地の野菜直売所が活況を呈し、その地方独特の食文化が注目されてきています。

野菜は本来、その地の人々が長い時間をかけて伝えてきた「地域の文化財」という側面をもっています。この2年間、各地の野菜たちに出合うなかで、心から実感することができました。伝統野菜はその地・その時期にしか食べられないからこそ貴重であり、人々の知恵が働き、さまざまな物語をもっています。再評価されることで、新しい食文化が育つ可能性が広がると確信します。

とはいえ、伝統野菜の生産・流通に関してはまだまだ不安定な面が多く、各地でさまざまな試行錯誤が続けられています。そうした情報交換も、もっと活発にしていきたいと考えます。



「野菜の学校」では、毎月、一地方の伝統野菜をテーマに、他地方産やハイブリッド種との食べくらべを行うなど、古くて新しい野菜の世界を探っていきます。ふるってご参加ください。

◆カリキュラム

受付:12時30分 講座:13時~16時

回	開催日	地方	取りあげる野菜(予定)
1	4月7日	江戸(東京)	亀戸大根、東京うど、新宿一本ねぎ、のらぼう菜、しんとり菜、滝野川ごぼう
2	5月12日	千葉	一寸空豆、はぐらうり、坊主知らずねぎ
3	6月2日	秋田	ジュンサイ、秋田ふき、阿仁ふき、八木にんにく、山菜
4	7月7日	山口	白オクラ、田屋なす、はぎごぼう、白瓜
5	9月1日	伊予(愛媛)	松山長なす、絹かわなす
6	10月6日	吉備(岡山)	ごぼう3種、土居分小葉、万善かぶら
7	11月10日	埼玉	岩槻ねぎ、さといも、しゃくし菜
8	12月1日	博多(福岡)	鯉菜、博多にんじん、金時にんじん、小田辺にんじん
9	2月2日	茨城	赤ねぎ、浮島大根、貝地高菜
10	3月2日	特別企画	修了式、記念講演、ベジタブルパーティ

上記野菜は気象等の条件により変更になる場合があります。ご了承ください。

◆受講料

◇全期(10回):45,000円 ◇半期(5回):25,000円 ◇単発(1回):6,000円

※いったん納入された受講料の返金はいたしかねます。

2012年度「野菜の学校」受講申込書

事務局からの連絡の都合上、必ず記入してください。

申込日：2012年 月 日

ふりがな		会員() 非会員()
氏名		男性() 女性()
年齢	20～39歳() 40～59歳() 60歳以上()	
職業	1()生産者 2()市場・流通 3()小売り 4()加工業 5()農協 6()大学、試験場 など研究機関 7()食育関連・料理教室など 8()種苗・育種関係 9()マスコミなど 10()その他()	
連絡先	自宅() 勤務先()	
自宅住所	〒	
	TEL:	FAX:
	E-mail	
勤務先等	〒	
	組織名	
	部署名	
	TEL:	FAX:
	E-mail	

- お申込みは、郵送、ファクス、E-mail いずれでもけっこうです。
郵送の宛先：東京都台東区秋葉原 2-3 日農ビル内 NPO 法人野菜と文化のフォーラム
FAX：03-3582-0280（ワークスペース内）
E-mail：info@yasaitobunka.or.jp
 - 定員：45人 定員に達し次第締め切り。受講料の入金確認をもって、申し込みとします。
 - 振込先：三菱東京UFJ銀行 秋葉原駅前支店
普通口座 0037764 名義 ミヤザキタケン
 - お問い合わせ：03-3582-0207（10:00～18:00 ワークスペース内）
 - 本申込書にご記入いただいた個人情報については、受講決定のお知らせ等、野菜の学校実施に関する事務の目的にのみ使用します。
- ※ 「野菜の学校」の会場は、秋葉原駅徒歩2分、ヨドバシカメラ北隣、東京都青果物商業協同組合ビル8階会議室です。お申込みいただいた方には、追って地図をお送りします。